

【取組内容①】 協働的な学びの中で、より多くの気づきを得るためのJamboardの活用

4年生 国語科「パンフレットを読もう」（光村図書）

使用アプリ：Jamboard

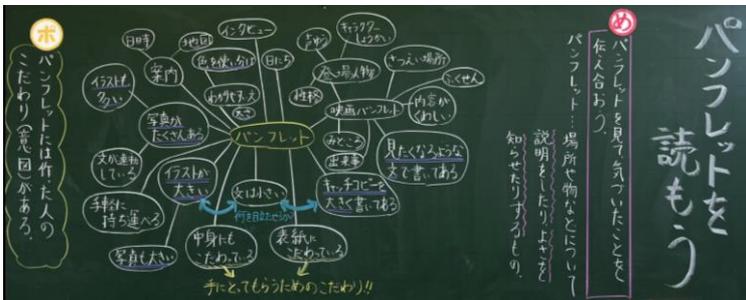
【活動内容】



気づいたことを書き出して話し合ったり、考えを広げたりするときにJamboardを活用することはとても効果的です。学校全体でも、Jamboardの良さを感じており、各教員が学年の実態に合わせて積極的に活用しているところです。

ここでは、4年生の国語科を例に、具体的な活用方法を紹介します。本時のめあてを確認したあと、実際に様々なパンフレットを見たり、読んだりして気づいたことを、Jamboardの共同編集機能を使って、グループで出し合う活動を行いました。

グループでの協働的な学びの時間をどのように使うかは、各グループに任せました。「個人でJamboardに気づいたことを入力していき、それからグループで話し合う」、「グループで気づいたことを話し合いながら、Jamboardに入力していく」など様々でしたが、どのグループもパンフレットの特徴に気づくことができました。その後、各グループの気づきを全体でも共有し、板書に残しておくことで、パンフレットの特徴をまとめました。



ふせんに書いたり、ノートに箇条書きしたりする方法もあります。Jamboardがそれらに勝るよさは、お互いの気づきをリアルタイムで共有できるということです。それは、思考過程でも、より多くの気づきを得ることにつながります。リアルタイムで共有される友達の気づきがきっかけで、新たな気づきが生まれるというプラスの循環が起ころうとよく見ます。

そのようなJamboardを活用するよさを学校のHPでも、校外の先生方に向けて発信しています。